

合同進学ガイダンスが開催される

6月28日（広島）、7月6日（横浜）、7月20日（神戸）

日本船主協会主催、全船協後援、その他17関係機関が主催・後援する国立高等専門学校（商船学科）5校合同進学ガイダンスが、6月28日広島で開催されたのに引き続き7月6日横浜「氷川丸」で開催されました。広島では約90名、横浜では約45名（何れの会場も非公式数）の生徒、保護者、教師の方々が参加されました。

13時に開催主催者を代表して日本船主協会鈴木修副会長、氷川丸を代表して金谷範夫船長の挨拶があり、DVD「海の上のプロフェッショナル」が上映され、商船学科に関する学校側の説明が鳥羽商船高専伊東先生によって行われました。

休憩を挟んで日本長距離フェリー協会労務部会長田栄弘氏から業界説明があり、「卒業生のメッセージ」として商船三井勤務の二等機関士 梅田尚宏氏（富山・本会会員）及び二等航海士 渡邊真史氏（富山・本会会員）から先輩としての話がありました。

梅田さんからは、乗船した色々な船種や就航した航路の話、商船学校へ入った理由や船だけが職場でなく陸上勤務として陸上でも活躍できること、また、渡邊さんからは、海技者の魅力、特に長期休暇と給料、機関士の道を選んだ理由、学校・練習船での学生生活、船内の職務、船内の食事と余暇の過ごし方等を中学生や海に馴染みのない保護者でも分かりやすく説明がありました。二人からは、ガイダンスに参加した中学生に将来一緒に働ける機会を待っていますと熱いエールが

送られました。その後各校ブースごとに個別の説明会があり生徒・保護者等は、自分が希望する学校だけでなく、全学校のブースで先生方に色々な質問をされました。

なかには女子中学生が保護者同伴で参加しており、今回開催された全船協総会后懇親会の来賓挨拶でも数多く述べられたように女子学生の商船系高専への入学が益々増えることを実感しました。

尚、本ガイダンス開催にあたりパンフレットの配布に協力された会員の方、各学校の同窓会関係者にお礼を申し上げます。とともに、来年は参加者が増加するよう事前の取組などを検討したいと思います。また、神戸での開催内容については、原稿締め切り日の関係で掲載できないことをお許しください。



梅田二機士



渡邊二航士



熱心に学校の状況を聞く生徒と保護者